



ミラクル ミュージアム

Demo 123

～第一章～

僕は、孤独だ。

僕は、S中学校に通う臼木 瑠汰（中2）だ。おっとりしていて眼鏡をかけているからアダ名は、おっとり眼鏡

勉強のときは、中の上くらいで友達は、いない。

誰にも相手にされなかった。だから、僕のいた時間を刻みたかった。

ある日のコンビニ帰りのこと、空に大きな黒い穴が空いて小さなアメが1つ落ちてきた。

僕は、それを手に取り、家に持ち帰った。家に着くと僕は、アメを恐る恐る開けて口にした。

口にしたら、アメは光を放ちながら溶けて消えていった。その後、僕は激しい痛みを伴い気絶してしまった。

目が覚めたら、激しい苛立ちを感じた。今まで感じた事の無い様な不快感が僕を襲った。

何が起きたんだ

僕は、起きた時に感じた苛立ちを隠しながら、学校に向かった。

学校には、イジメをする村田 高晟（中2）がいる。この男は、いつもは、うるさいのだが、今日は、静かであった。また、クラス全員が元の性格とは、正反対の性格になっている様だった。

あの日以来、僕の性格も変わってしまったのだろう。もう、元の性格には、戻れないのだろうか？

僕の言葉に加わる様に小鳥が鳴いた……

終

短い話で中途半端な終わり方ですが、読んでくださりありがとうございました。